

さんま通信

夏

厚生中央病院だより 第38号 2014年



ご挨拶

事務部長 瀧口 和利

みなさん、こんにちは。

通勤の行き帰りの道すがら、紫陽花の色の変化が目を楽しませてくれる季節となりましたが、私が4月から当院に着任して早くも3か月が経過しようとしております。当院の勤務は7年振りとなります。改めまして、よろしく願い申し上げます。

最初のうちは、久しぶりの病院勤務に少し緊張していましたが、「おはようございます」、「お疲れ様です」と声をかけてくれる病院スタッフの明るさ、気さくさは、変わりなく「ほっと」しました。

7年前と比べると当院をめぐる環境は大きく変化しており、「病院完結型」の医療から「地域完結型」の医療へ転換を図るべきとの方向性が示され、当院も地域包括ケア病棟の開設など新たな取り組みを進めています。そのような中で、要領も掴めぬまま毎日慌ただしく過ごしておりますが、「医療は、人が人を診るとのこと。この点を大事にしたい。」と熱く語る病院長の話や「温もりを感じる医療」を目指す当院の理念に変わりがないことを改めて感じます。

団塊の世代が後期高齢者になる2025年問題を目前に控え、日本の高齢化は加速度を増し、医療・介護の在り方も大きな転換期を迎える中で、これから当院が改革していかなければならない課題はまだ数多くありますが、「変えなければいけないこと」と「変えてはいけないこと」を見極めつつ、大学病院や地域の病院、診療所、開業医の先生方、更には介護施設や在宅介護等に携わる方々との連携を一層深め、地域のニーズに合った医療を提供できる病院となれるよう甚だ微力ですが、努力して参りますのでよろしくお願い申し上げます。



目次 contents

ご挨拶..... 1

「出産」という人生の大きなイベントを当院で!..... 2~3

第21回 健康セミナーのご案内 医療連携広報室のスタッフが新しくなりました!..... 4

どうして？
さんま通信なの？

目黒で野駈けをしていた殿様が、初めて召しあがる“さんま”にいたく感激。お城で再び食べてみたが、美味しくない。即座に『さんまは目黒に限る!』当院も“目黒のさんま”でありたいとの願いを込めて。

「出産」という人生の大きなイベントを当院で!

産婦人科 副部長

幾石 尚美

近年、working womanが増え、手に職を持ちながらキャリアを積み、結婚・妊娠・出産というライフスタイルを過ごされる女性が目に留まります。「15～49歳の女性が一生の間に出産する子供の数」は、2012年で「1.41人」という確定数が出ています。すなわち、2人は産まないかもしれない、1人の赤ちゃんを確実に出産しようという女性が増えています。

その出産という大きなイベント…施設選びをどのようにしたら良いかについて、当院の産科のご紹介も併せてお読みいただければと思います。

1. 当院の産科外来の特色…「顔が見える関係作りを心がけています!!」

産婦人科外来のスタッフは医師も看護師も病棟と同じメンバーで、「一体化看護」体制をとっています。よって外来診療で受けた妊婦様の診療内容は、病棟の看護師として同時に把握することができます。外来診療においては、初診で診察した医師が一貫して妊婦健診を担当しています。途中で別の担当医になっても、以降の担当医についてはご本人様が自由に選択をすることができます。

2. 当院の医師紹介…「女性医師が多い環境です。」

産婦人科の医師は、現在常勤医師7名、非常勤医師2名、うち女性医師は6名で構成されています。産婦人科専門医は6名、学会が定める新生児蘇生法「専門」コース終了認定証の資格を有する者が7名おり、安心したマンパワーで分娩環境を備えております。

3. 出産に対する観念…「より自然な分娩を」

当院では無痛分娩や、分娩予定日前の計画分娩は行っておりません。出産は、「赤ちゃんが生まれてきたい適切な時期に自然にその兆候が見られてくるもの」です。当院では、分娩予定日まで特別なことを行わず、自然な兆候を待ちます。計画分娩は、分娩予定日が過ぎた段階で担当医と相談の上、方針を決めていきます。

4. 新生児の対応について

当院にはNICU（新生児集中治療施設）がありません。出生時、または出生後に治療や検査が必要と判断される赤ちゃんについては、近隣の医師と連携を取り、当院の小児科医師を通じて対応をして頂いています。主な対象施設は日赤医療センターや大学病院などになります。

まず、見学だけでも構いません。

当院に受診をして頂き、病棟の温かい空気、明るい雰囲気を見に来てみませんか?

医師、看護スタッフ皆でお待ちしています。お気軽にご相談ください。



当院の助産師は、お母様方をサポートしています

助産師外来

妊婦健診を助産師が担当します。

音楽を聴き、ハーブティーを飲みながら、ゆっくり時間をかけて健診を行います。何かわからない事、不安な事があれば何でも聞いて下さい。



母乳外来

乳房マッサージ、育児相談、卒乳相談、ベビーの体重チェックなど様々なことに対応しています(予約制)。助産師がマンツーマンで行います。

*当院で分娩されていない方でも受診可能ですので、お気軽にお電話下さい。



育児クラス

生後1~6ヶ月のベビーとママ達が集まったの同窓会です。

「話を聞いてほしい」「みんなと色々話したい」「久しぶりに外出して、リフレッシュしたい」など日頃の思いなどをお聞かせください。

*月ごとに様々なイベントを企画しています。お楽しみに！
(イベントの詳細はホームページにてご確認ください)



病棟・外来スタッフ

当院では、外来と病棟が同じスタッフです。「お産で入院したら、知らないスタッフばかり・・・」なんてことはありません！外来でよく見かけているスタッフが入院中もサポートします。みなさん、安心してお産に来てください。

*スタッフ26名が助産師なので、専門的なケアも充実しています！



産婦人科病棟 師長 永久保 静子

お問い合わせは

☎ 03-3713-2141 (代表) 4階病棟 助産師まで

第21回 健康セミナーのご案内

～ テーマ ～

切らずに予防する脳卒中～最新カテーテル治療の実際と展望

頭蓋骨を大きく開ける従来の脳外科手術ではなく、局所麻酔で負担の少ないカテーテルで行う最新の治療法を紹介します！ ご興味のある方のご参加をお待ちしております。

*** 講演終了後、医師による無料健康相談を行います。**

- 日時** 平成26年7月19日(土) 14時～16時
- 会場** 厚生中央病院 3階講義室
- 講師** 厚生中央病院 脳神経外科 渡辺 大介 医師

参加費無料、お申し込みも不要です。当日会場までお越しください。

お問い合わせ先

医療連携広報室 電話 03 (6863) 2890・2891

医療連携広報室のスタッフが新しくなりました！

- 事務担当者**
沖村 大輔 村主 雅弘 堤 ユカ 金子 さやか
- MSW メディカルソーシャルワーカー**
安仁屋 衣子
- 退院調整看護師**
藤原 麻由礼 (認知症看護認定看護師)



今後とも
よろしく
お願い致します。

病院の理念

- ・私たちは、心の通った温もりを感じる医療を目指します。
- ・私たちは、組合被保険者ならびに地域の人々の健康と福祉に貢献します。
- ・私たちは、病院機能の充実を図り、サービス向上のため日々研鑽します。

基本方針

「健全な経営と安全で質の高い地域中核病院を創造する」

行動目標

- ・私たちは、患者さんから選ばれる病院を創り上げる。
- ・私たちは、効率的で質の高い安全な医療を構築する。
- ・私たちは、安心と誇りを持って働き、一番大切な人を受診させたい病院にする。

患者さんの権利

- ・最良の医療を受ける権利
- ・病気について、理解可能な言葉で説明を受ける権利とその説明に対して意見を述べる権利
- ・プライバシーが守られる権利
- ・転院の権利
- ・診療情報の開示を求める権利

患者さんの義務

- ・自己の療養に関して病院職員に協力する義務

